

19世紀オスマン帝国における領土的編制と領土的想像力

秋葉 淳 (千葉大学大学院人文社会科学研究科)

はじめに

「帝国」としてのオスマン帝国

1. オスマン帝国の領土的編制 (1840-1908)

1. タンズィマート改革以前

- ・軍管区と司法管区 (別系統) それぞれ行政・財政の単位
- ・在地有力者 (アーヤーン) の州、県軍政官職就任 「王朝」も出現→1820s から統合へ
- ・「属国」、「自治州」(対応する原語なし)(ワラキア、モルダヴィア、セルビア、サモス)

2. タンズィマート改革の施行 (1840~)

タンズィマート施行地域 (=「中核」) / 他の直轄領 / 自治領

- ・タンズィマート施行地域

バルカン (自治州、ボスニア、アルバニア除く) とアナトリア中西部

徴税官派遣、評議会、資産調査、徴税請負制廃止、新税制

1842年に徴税官、資産調査廃止、徴税請負制復活、州総督中心の新税制・行政制度

- ・直轄領：軍人総督による統治

- ・「自治州」(ワラキア、モルダヴィア、サモス、エジプト、チュニス)

1845 地方有力者会議 (イスタンブル) →各戸収入調査 タンズィマート施行地域のみ

3. タンズィマートの拡大

1847 クルディスターンの「再征服」 クルディスターン州創設、タンズィマート施行

(この前後に、アナトリア東部、アルバニア地方もタンズィマート圏内に)

1849 州評議会 (eyalet meclisi) 規則、州総督・県令の任務再規定

ボスニア、シリア地方 (サイダー (ベイルート)、アレppo、シャーム (ダマスカス)) も対象、
バグダードにも (1851) →タンズィマートが直轄領のほぼ全域に拡大

4. 州 (vilayet) 制改革 (1864~)

中央集権的、画一的な行政システム 州知事の強い権限 住民参加の拡大 (各種評議会、法廷) と官僚制的統制 開発 (公共事業)・教育

州制施行地域 / 特別法施行地域 / 非施行地域 (=特権諸州 eyalât-ı mümtâze)

- ・州制施行地域：少数精鋭の官僚に知事職を委ねて統制強化 (ミドハト・パシヤ、ジェヴデト・パシヤ等)

大規模州の形成：ドナウ Tuna 州 (スイリストレ州+ヴィディン州+ニシュ州の一部)、シリア

Suriye 州 (サイダー+シャーム)、アレッポ Haleb (アレッポ+アダナ)、バグダード州 (モースルからバスラまで) など

→のちに再び細分化 (1880 年代~)

- ・ 特別法施行地域 レバノン山岳地帯 (1861)、クレタ (1868→1897 自治州)
- ・ 「特権諸州」 エジプト (ヘディーヴ) (1882 英により占領)、チュニス (ベイ) (1881 仏保護国)、サモス (ベイ); [ベルリン条約 (1878) による]: ボスニア (オーストリア=ハンガリー占領)、ブルガリア公国、東ルメリア州、
- ・ 占領下の領域: キプロス、アダカレ

※第一次立憲政期 (1876-78) の議会に特権諸州、レバノン山岳地帯から代議員選出されず

II. オスマン帝国における領土的想像力

1. 「国家年鑑 salname」に見るオスマン帝国領

1846 年発刊 職官録 国家機構の総覧 官僚のハンドブック

地方官一覧 (県レベルまで、後に郡まで) (毎号)、アルファベット順県郡名索引 (2 号)、各州県の郡一覧 (4 号など) →帝国領を一望、領土認識、官僚の領土的知識

1850 年代頃までの地方官一覧: バルカン諸州 (エディルネから西回り) →アナトリア諸州 (カスタモヌから横向きの S 字) →アラブ諸州 (シリア地方→イラク地方→アラビア半島→アフリカ)

※各地方のおおよそのまとまりを反映

※各州のステータスの違いは地方官、財務官の職名に反映 (自治州には財務官記載なし)

1880 年代: 特権諸州を末尾に記載 (ただし、記載事項少量)

1880 年代末~: アラブ諸州が先頭 ヒジャーズ→イエメン→イラク諸州→シリア諸州→トリポリ→アナトリア諸州→バルカン諸州→直轄県 (エルサレム、イズミト、山岳レバノンなど) →特権諸州 (エジプト、チュニス、ボスニア、ブルガリア、東ルメリア、サモス)

※ アラブ優先政策 イスラーム主義政策

※ 外国による占領は無視

※ 特権諸州の項は帝国の宗主権の主張であると同時に権力の限界を如実に示す

2. 地理教科書に見るオスマン帝国領

学校教育での地理学 (Cf. 地図の利用)

1880~1900 年代の高等小学校・中学校の地理教科書

- ・ 三大陸にまたがる大国: 「オスマン・ヨーロッパ Avrupa-yı Osmanî」「オスマン・アジア Asya-yı Osmanî」「オスマン・アフリカ Afrika-yı Osmanî」→地理教科書における絶対的な地域区分 (「世界地理 coğrafya-i umumi」教科書ではバラバラに)。記述の順序も同様

(「アジア」と「東洋 şark」)

- ・ 定型的記述スタイル: 海岸、山、川・湖 (自然地理情報は充実 (羅列的)) →行政区分→各地の位置、人口、地形、特産品、建築物、遺跡他

- ・ 「オスマン・アジア」の様々な下位区分:

(1) アナトリア、クルディスタン、ジャズィーラ (イラク)、シリア、ヒジャーズ=イエメン (Ali Cevad, Ali Tevfik)

(2) 海による分類: 黒海沿岸部、マルマラ～エーゲ海、地中海、ペルシア湾、内陸部 (Abdurrahman Şeref, Ahmed Cemal, Menemenlizade)

・オスマン領の範囲 (極大化): エジプト領スーダンも含む 特権諸州も同等に記述 被占領はベルリン条約によるボスニアのみ (例外的に、Abdurrahman Şeref 英のキプロス占領言及)

・ 古代遺跡への言及: オスマン人による古代の「発見」と「所有」

・ 多民族・多宗教帝国

・ 民族的特徴: アルバニア人 (勇敢、客人歓待、狂信的)、クルド人 (勇敢、客人歓待、部族社会)、ラーズ人 (Ali Tevfik)、アラブ人 (アラビア半島の) (Abdurrahman Şeref)

※辺境民のみに特殊な属性

※州年鑑からの引用 州年鑑 (州制法施行～): 各州の職官録、各種統計、地理的情報 (地方官のハンドブック、支配のための情報)

※地理教科書→想像されるオスマン帝国の国土 帝国の隅々までわたる規格化された情報の総体 現実 (主権の及ぶ範囲/官僚・学生の巡礼圏) との乖離

おわりに

・オスマン帝国の可視化

・密教から顕教へ

・収縮する帝国と支配 (主権) の主張

・ヨーロッパによる地域区分=支配・干渉の言説の拒否

参考文献

Abdurrahman Şeref. *Coğrafya-ı Umumi*. Vol. 1. İstanbul: Karabet Matbaası, 1306 (1888).

—. *Coğrafya-ı Umumi*. Vol. 2, 2nd ed. İstanbul: Karabet Matbaası, 1310 (1892).

—. *İstatistik ve Coğrafya-yı Umranî*. İstanbul: Karabet Matbaası, 1314 (1894)

Ahmed Cemal. *Coğrafya-i Osmani*. İstanbul: Mekteb-i Harbiye Matbaası, 1316 (1900).

Ali Cevad. *Resmî Mücmel Coğrafya*. Dersaadet: Kasbar Matbaası. 1313 (1895).

—. *Memalik-i Osmaniye'nin Tarih ve Coğrafya Lüğatı*. 4 vols. Dersaadet: Mahmud Bey Matbaası, 1313-14.

Ali Tevfik. *Memalik-i Osmaniye Coğrafyası*. İstanbul: Karabet Matbaası, 1308 (1890).

Menemenlizade Mehmed Tahir. *Osmanlı Coğrafyası*. İstanbul: Karabet Matbaası, 1312 (1894).

Şemseddin Sami. *Kamusü'l-A'lâm*. 6 vols. İstanbul: Mihran Matbaası, 1306-16 (1889-98).

Salname-i Devlet.

Trablusgarb Vilayet Salnamesi.

Trabzon Vilayet Salnamesi.

Yemen Vilayet Salnamesi.

Akiba, Jun. "Preliminaries to a Comparative History of the Russian and Ottoman Empires: Perspectives from Ottoman Studies." In *Imperiology: From Empirical Knowledge to Discussing the Russian Empire*, ed. Kimitaka Matsuzato, 33-47. Sapporo: Slavic Research Center, 2007.

Fortna, Benjamin C. *Imperial Classroom: Islam, the State, and Education in the Late Ottoman Empire*.

Oxford: Oxford University Press, 2002.

Herzog, Christoph, and Raoul Motika. "Orientalism alla turca: Late 19th/Early 20th Century Ottoman Voyages into the Muslim 'Outback'." *Die Welt des Islams* 40/2 (2000): 139-195.

İnalçık Halil; Şevket Pamuk (eds.). *Osmanlı Devleti'nde Bilgi ve İstatistik*. Ankara: T. C. Başbakanlık Devlet İstatistik Enstitüsü, 2000.

Kühn, Thomas. "Ordering the Past of Ottoman Yemen, 1872-1914." *Turcica* 34 (2002): 189-220.

Le Gall, Michel F.. "A New Ottoman Outlook on Africa: Note on Turn of the Century Literature." *Studies on Ottoman Diplomatic History* 5 (1990):135-146.

Makdisi, Ussama. "The "Rediscovery" of Baalbek: A Metaphor for Empire in the Nineteenth Century." In *Baalbek: Image and Monument, 1898-1998*, ed. Hélène Sader, Thomas Scheffer and Angelika Neuwirth, 137-156. Beirut: Franz Steiner Verlag, 1998.

秋葉淳「近代帝国としてのオスマン帝国—近年の研究動向から」『歴史学研究』798 (2005): 22-30.
—「末期オスマン帝国における中央＝周縁関係の再編—「オスマン版オリエンタリズム」の研究」小沢弘明 (研究代表者)『ヨーロッパ近現代史における中心＝周縁関係の再編』2005年度～2007年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B)) 研究成果報告書, 2008.



オスマン領ヨーロッパ (1900年頃)



オスマン領アナトリア (1900年頃)